

2009（平成21）年度入試要項

1. 募集人員

博士課程前期※ 10名

博士課程後期※ 4名

※内部推薦若干名を含む

2. 出願資格

【博士課程前期】

(1) 一般入試：以下のいずれかに該当する者

- 1) 大学を卒業した者および2009（平成21）年3月卒業見込みの者。
- 2) 本学において、学校教育法施行規則に基づき大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者。

(2) 社会人入試：以下の全てに該当する者

- 1) 入学時において、3年以上の職歴を有する者。
- 2) 入学時において、大学を卒業している者、または本学において学校教育法施行規則に基づき大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者。

※社会人入試とは、実務経験を有する者を対象とするものである。

(3) シニア入試：以下の全てに該当する者

- 1) 入学時において、55歳以上もしくは30年以上の職歴を有する者。
- 2) 入学時において、大学を卒業している者、または本学において学校教育法施行規則に基づき大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者。

(4) 外国人入試：以下の全てに該当する者

- 1) 外国において16年以上の学校教育の課程を修了した者、または本学においてそれと同等以上の学力があると認めた者。ただし、大学入学までの教育課程を外国で修了し、日本国内の大学を卒業した者、もしくは卒業見込みの者を含む。

※事前に審査を行うので、小学校から現在までの学歴および希望研究内容を記載した文書（様式任意）を、最終卒業校の成績証明書と卒業証明書のコピーを添えて、出願締切日の1週間前までに入試広報部に提出すること。

- 2) 外国国籍を有する者。

【博士課程後期】

- (1) 一般入試：以下のいずれかに該当する者
 - 1) 修士の学位を持つ者および 2009（平成 21）年 3 月取得見込みの者。
 - 2) 本学において、学校教育法施行規則に基づき修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者。
- (2) 社会人入試：以下の全てに該当する者
 - 1) 入学時において、3 年以上の職歴を有する者。
 - 2) 修士の学位を持つ者および 2009（平成 21）年 3 月取得見込みの者、または本学において学校教育法施行規則に基づき修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者。

※社会人入試とは、実務経験を有する者を対象とするものである。
- (3) シニア入試：以下の全てに該当する者
 - 1) 入学時において、55 歳以上、もしくは 30 年以上の職歴を有する者。
 - 2) 修士の学位を持つ者および 2009（平成 21）年 3 月取得見込みの者、または本学において学校教育法施行規則に基づき修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者。
- (4) 外国人入試：以下の全てに該当する者
 - 1) 外国において修士の学位を得た者およびこれに相当する学位を得た者。ただし、大学入学までの教育課程を外国で修了し、日本の大学院において修士の学位を得た者および 2009（平成 21）年 3 月取得見込みの者を含む。
 - 2) 外国国籍を有する者。

3. 選考方法

【博士課程前期】

1	一般入試	<p>①英語 *1 *2</p> <p>②専門科目</p> <p>③面接試問</p>	<p>経済・社会に関する基礎的な問題 (90分)</p> <p>専門研究領域等に関する基礎学力をみる問題 (90分) 各専門研究領域の内容については p.18 以降の授業科目の概要を参照のこと。</p> <p>イノベーションに関する問題 2問 経済(政策)領域に関する問題 2問 経営(戦略)領域に関する問題 2問 心理領域に関する問題 2問 社会領域に関する問題 2問</p> <p>以上の10問から2問を選択</p> <p>研究計画書の内容および試験等に関する面接 (30分)</p>
2	社会人入試	<p>①英語 *1 *2 もしくは 小論文 (出願時届出)</p> <p>②面接試問 *3</p>	<p>経済・社会に関する基礎的な問題 (90分)</p> <p>指導を受ける研究領域の問題に関する小論文 (90分) 各専門研究領域の内容については p.18 以降の授業科目の概要を参照のこと。</p> <p>研究計画書の内容、実務経験および試験等に関する面接 (45分)</p>
3	シニア入試	<p>①英語 *1 *2 もしくは 小論文 (出願時届出)</p> <p>②面接試問 *3</p>	<p>経済・社会に関する基礎的な問題 (90分)</p> <p>指導を受ける研究領域の問題に関する小論文 (90分) 各専門研究領域の内容については p.18 以降の授業科目の概要を参照のこと。</p> <p>研究計画書の内容、実務経験および試験等に関する面接 (45分)</p>
4	外国人入試	<p>①日本語 *2 もしくは</p>	<p>日本の経済・社会に関する問題 (90分)</p>

		<p>英語 *1 *2 (出願時届出)</p> <p>②専門科目</p> <p>③面接試問</p>	<p>経済・社会に関する基礎的な問題 (90 分)</p> <p>専門研究領域等に関する基礎学力をみる問題 (90 分) 各専門研究領域の内容については p.18 以降の授業科目の概要を参照のこと。</p> <p>イノベーションに関する問題 2 問 経済 (政策) 領域に関する問題 2 問 経営 (戦略) 領域に関する問題 2 問 心理領域に関する問題 2 問 社会領域に関する問題 2 問</p> <p>以上の 10 問から 2 問を選択</p> <p>研究計画書の内容および試験等に関する面接 (30 分)</p>
--	--	---	--

【博士課程後期】

1	一般入試	①英語 *2 ②面接試問	社会科学一般に関する問題 (90 分) 修士論文および研究計画書の内容に関する面接 (60 分)
2	社会人入試	①英語 *2 ②面接試問 *3	社会科学一般に関する問題 (90 分) 修士論文、実務経験および研究計画書の内容に関する面接 (60 分)
3	シニア入試	①英語 *2 ②面接試問 *3	社会科学一般に関する問題 (90 分) 修士論文、実務経験および研究計画書の内容に関する面接 (60 分)
4	外国人入試	①英語 *2 ②面接試問	社会科学一般に関する問題 (90 分) 修士論文および研究計画書の内容に関する面接 (60 分)

*1 英語試験については、過去 4 年以内に受験した TOEFL-iBT 68 点 (PBT 520 点, CBT 190 点) 以上、もしくは TOEIC (含む TOEIC-IP) 650 点以上をもって試験を免除する。

*2 語学試験については辞書を貸与する。貸与した辞書に限り使用を認める。

*3 社会人入試、シニア入試の受験生の方は、研究計画書 (本学指定) とともに、実務経歴書 (本学指定) を提出すること。また、自らが直接に関与し、すでに公表した著作、論文、レポート等がある場合、研究業績報告書 (書式任意) を提出すること。

実務経歴書の記載事項 (本学指定)

- ①勤務している (していた) 企業・機関・団体等の名称・期間および事業内容
- ②担当している (していた) 業務の具体的な内容
- ③過去、職業人として最も充実して行った仕事の内容

研究業績報告書 (大学卒業後) の記載事項 (書式任意)

- ①自らが直接に関与し、すでに公表された著作、論文、レポート等の題名、概要、出版年、出版社 (雑誌名) を 5 点まで記載すること。また、このうち代表的なものについて 3 点までを提出すること。

4. 試験日程

I 期

【博士課程前期】

	2008年9月27日		
	9:15~10:45	11:00~12:30	13:30~
一般入試	英語	専門科目	面接試験
社会人入試	英語もしくは小論文		面接試験
シニア入試	英語もしくは小論文		面接試験
外国人入試	日本語もしくは英語	専門科目	面接試験

【博士課程後期】

	2008年9月27日	
	9:15~10:45	11:00~
一般入試	英語	面接試験
社会人入試	英語	面接試験
シニア入試	英語	面接試験
外国人入試	英語	面接試験

II 期

【博士課程前期】

	2009年1月30日		
	9:15~10:45	11:00~12:30	13:30~
一般入試	英語	専門科目	面接試験
社会人入試	英語もしくは小論文		面接試験
シニア入試	英語もしくは小論文		面接試験
外国人入試	日本語もしくは英語	専門科目	面接試験

【博士課程後期】

	2009年1月30日	
	9:15~10:45	11:00~
一般入試	英語	面接試問
社会人入試	英語	面接試問
シニア入試	英語	面接試問
外国人入試	英語	面接試問

5. 募集方法

	I 期 募 集	II 期 募 集
	博士課程 前期・後期	博士課程 前期・後期
出願期間	2008年9月5日~9月18日	2009年1月5日~1月20日
願書受付	入試広報部窓口。日曜・祝日を除き毎日午前9時より午後4時30分まで。ただし、土曜日は正午まで。	
試験日	2008年9月27日	2009年1月30日
	試験当日は、試験開始30分前までに集合のこと。	
合格発表	2008年9月29日 午前10時	2009年2月2日 午前10時
入学手続締切	2008年10月23日	2009年2月24日

6. 出願手続

(1) 検定料

検定料(35,000円)を、本学所定の振込依頼書にて窓口で振込のうえ、次項の書類を所定の期日までに本学入試広報部に提出し、受験票の交付を受けること。

※銀行振込に限る。

※自動振込機(ATM)は使用しないこと。

(2) 出願時提出書類

	博士課程前期				博士課程後期			
	一般入試	社会人入試	シニア入試	外国人入試	一般入試	社会人入試	シニア入試	外国人入試
入学願書（本学所定の用紙。巻末に添付）	○	○	○	○	○	○	○	○
研究計画書（本学所定の用紙。巻末に添付）	○	○	○	○	○	○	○	○
卒業または卒業見込証明書	○	○	○	○				
成績証明書1部（学部のもの）	○ (注1)	○ (注1)	○ (注1)	○ (注1)	○	○	○	○
修士学位取得または取得見込証明書					○	○	○	○
成績証明書1部（博士課程前期または修士課程のもの）					○	○	○	○
実務経歴書（本学所定の用紙。巻末に添付）		○	○			○	○	
研究業績報告書（大学卒業後）		○ (注2)	○ (注2)			○ (注2)	○ (注2)	
修士論文またはこれに準ずるもの3部（提出された論文は原則として返却しない）					○	○	○	○
登録原票記載事項証明書 (注3)	○	○	○	○	○	○	○	○
TOEFL、TOEIC 成績証明書	○ (注4)	○ (注4)	○ (注4)	○ (注4)				
各種資格の取得証明書、各種 検定の成績証明書等（注5）	○	○	○	○	○	○	○	○

(注1) 他大学もしくは他研究科の博士課程前期または修士課程を修了もしくは修了見込の者で、本学博士課程前期課程入試志願者は、当該課程の成績証明書も提出のこと。

(注2) 該当者のみ。書式自由。

(注3) 日本在住で外国国籍を有する者のみ。

(注4) 「英語」を受験する者で、科目の受験免除を希望する該当者のみ。

(注5) 任意提出書類。経済学検定など各種検定の成績や、各種資格などについて、面接の際に参考資料とする場合があります。証明書はコピーでも構いません。

7. 学費（参考）

参考のために2008（平成20）年度経済学研究科入学者入学年次納付金一覧を記載する。
2009（平成21）年度の社会イノベーション研究科については、金額・納付方法等の一部を変更する場合がある。

2008（平成20）年度入学者入学年次納付金一覧（参考:経済学研究科）

	科目	学外者	学内者	備考	
博士課程前期	入学金	150,000 円	免除	入学年次のみ徴収	
	授業料	570,000 円	570,000 円	分割	1期のみ 150,000円 2～4期 各 140,000円
	施設費	65,000 円	65,000 円	2年次も徴収	
	経済学会費	3,000円	3,000円	毎年徴収	
	合計	788,000 円	638,000 円		
博士課程後期	入学金	150,000 円	免除	入学年次のみ徴収	
	授業料	507,000 円	507,000 円	分割	1期のみ 132,000円 2～4期 各 125,000円
	施設費	65,000 円	65,000 円	2年次も徴収	
	経済学会費	3,000円	3,000円	毎年徴収	
	合計	725,000 円	575,000 円		

- (注) 1. 授業料は年4回に分割納付することができる。
分割納付の場合の初回納付金は、次のとおり。
- | | | | |
|-------|----------|-------|----------|
| 前期学外者 | 368,000円 | 前期学内者 | 218,000円 |
| 後期学外者 | 350,000円 | 後期学内者 | 200,000円 |
2. 入学金は入学年次のみ徴収。本学卒業生（学内者）は入学金を免除する。
3. 外国人留学生で授業料等減免制度の利用を希望する者は、合格発表日当日、大学1号館1階国際交流室で当該制度についての説明を受けた後、所定の手続（納付金の振込と入学手続き書類の提出）を行うこと。
4. 入学手続き完了後、2009年3月31日（火）正午までに所定の入学辞退手続きを完了した者には、入学金を除く納付金を返還する。

8. 合格発表および入学手続き

合格者の発表は、発表当日に大学2号館入試広報部掲示板（巻末「大学校舎案内」参照）にて行う。郵便・電話による合否の発表はしない。

合格者には、発表当日に入試広報部にて入学手続き書類を交付する。なお、当日来校できなかった合格者には、発表翌日に入学手続き書類を郵送する。本学で交付する書類以外に、下記の書類が必要になるので用意すること。

- a) 博士課程前期入学者は卒業証明書、博士課程後期入学者は学位取得単位証明書（修了証明書）を3月27日（金）までに提出のこと（出願時に提出した場合は不要）。
- b) 写真 1枚（縦3cm、横3cm、カラー・白黒どちらでも可、正面脱帽・背景なし、提出日前3ヶ月以内撮影のもの、裏面に研究科名、氏名を記入すること）
- c) 住民票（本籍の記載不要）または住民記載事項証明書 1通（外国籍を有する者は不要）

9. 問い合わせ

入学試験に関する一切の問合せは入試広報部へすること。（☎03(3482)9100）

